



旧追手門学院中・高敷地を再開発 高性能人工芝の多目的グラウンドを整備

学校法人追手門学院（大阪府中央区、理事長：川原俊明）は、2019年4月に茨木総持寺キャンパスを新たに開設し、茨木安威（あい）キャンパスから約半数の大学生と追手門学院中・高等学校（以下、中・高）を移転させました。

これを受け、茨木安威キャンパスの旧中・高敷地を含めたキャンパス全体の再開発を進めています。このほど旧中・高敷地を人工芝のグラウンドと駐車場等に整備する工事が完了し、1月15日から供用開始しました。

新しいグラウンドと駐車場等は、旧中・高の敷地約3万m²を対象に旧校舎を解体して整備し、サッカー、ラグビー、アメリカンフットボール競技にも対応できる広さ10,625m²人工芝のグラウンド、公式戦に対応したテニスコートを3面、100mの全力疾走が可能な走路、それに252台収容の駐車場とバイク用の駐輪場を開設しました（別紙参照）。

このうち新しい人工芝のグラウンドは、高性能人工芝を導入し、クッション性を向上させました。またグラウンドを俯瞰するネットワークカメラを設置し、プロサッカーチームやプロラグビーチーム等を招致し、動きや戦術を科学的に解析し、パフォーマンス向上に役立ててもらえることも可能です。

【ポイント】

- 2019年4月の茨木総持寺キャンパス開設に伴い、茨木安威キャンパスを再開発
- 旧追手門学院中・高等学校敷地をグラウンドや駐車場等に整備
- クッション性の高い高性能人工芝を導入し、プロチームの使用にも対応が可能



供用開始した新グラウンド（旧追手門学院中・高敷地）

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

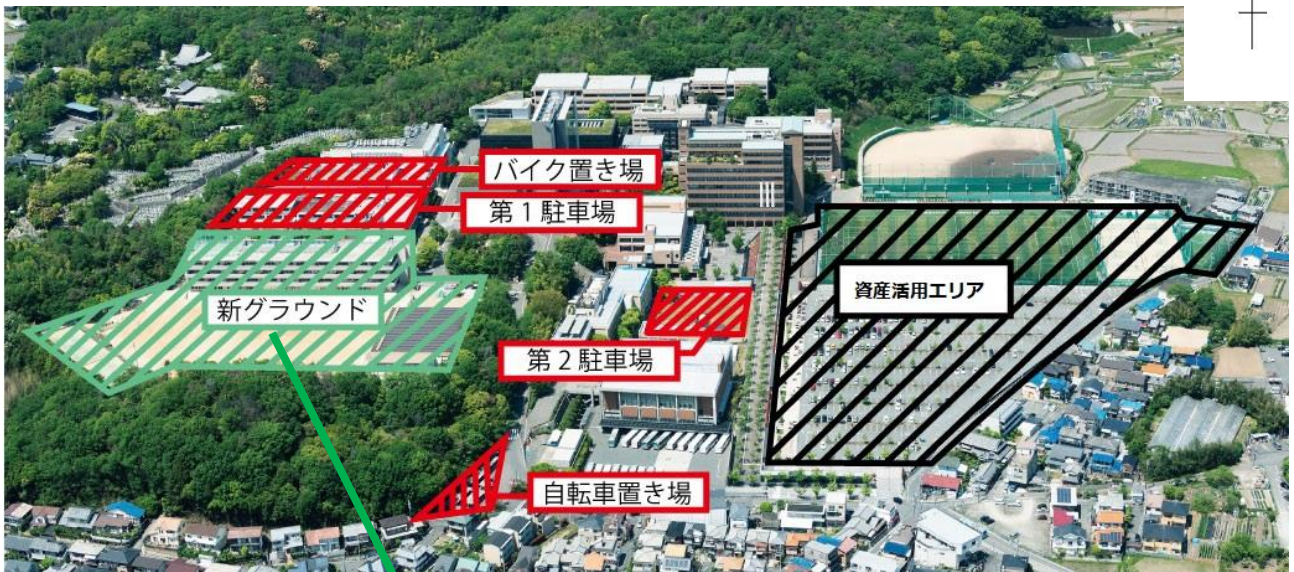
追手門学院 広報課

TEL：072-641-9590 谷ノ内・足立

(別紙)



再開発開始前（茨木安威キャンパス）



再開発区域（茨木安威キャンパス）



新グラウンド